

第4節 高等学校教育

第1項 教育機会

1. 現状と課題

(1) 進学率

後期中等教育は、高等学校及び高等専門学校、盲学校、聾学校、養護学校の高等部で行われている。

このうち、盲学校、聾学校及び養護学校の高等部については、「第5節 養護教育」において取り上げ、以下、高等学校・高等専門学校への進学状況と高等学校の在学者の状況を見る。

本県の高等学校・高等専門学校への県平均進学率の推移を昭和43年度から昭和51年度までにおいてみると、その進学率は、逐年上昇し、昭和51年度において87.0%に達している。

一方、この県平均進学率を昭和51年度において全国平均進学率92.6%と比較すると、本県の進学率は、全国のそれより5.6ポイント下回っている。

しかし、この進学率を昭和43年度から昭和51年度までの年平均の伸びで全国のそれと比較すると、県における年平均の伸びは2.45ポイントで、全国のそれは1.98ポイントであるから、伸びは県が全国を上回っている（図2-4-1）。

図2-4-1 進学率の推移

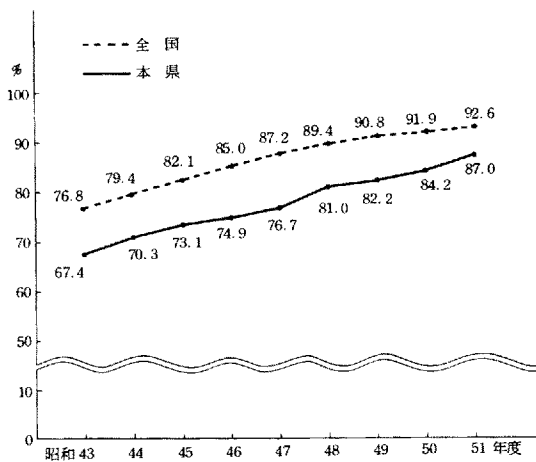
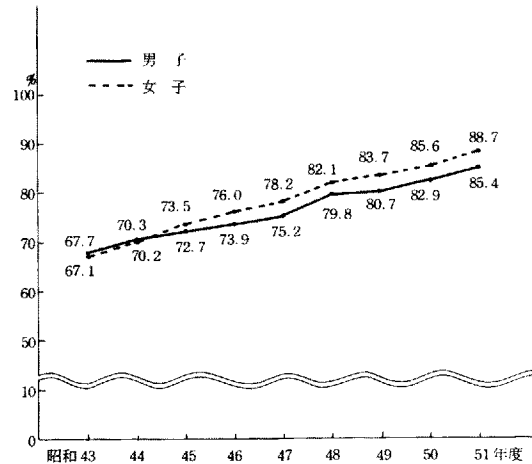


図2-4-2 男女別進学率の推移



注：1. 「学校基本調査報告書」(昭43～昭51)による。
2. 進学率 = $\frac{\{ (進学者数) + (就職進学者数) \}}{(中学校卒業生数)} \times 100$

注：1. 「学校基本調査報告書」(昭43～昭51)による。
2. 男子進学率 = $\frac{\{ (男子の進学者数) + (男子の就職進学者数) \}}{(男子中学校卒業生数)} \times 100$ 、女子についても同様である。

また、進学率の推移を男女別に昭和43年度から昭和51年度までにおいてみると、昭和43年度には、男子67.7%、女子67.1%となっていたが、昭和44年度にほぼ一致の状況を示し、それ以後、女子の進学率は、男子の進学率を上回った状況で推移している（図2-4-2）。